

お客様の声を活かした住まいに関するものづくり活動「EYE'S PLUS」

「洗面室のモンダイ」を解決する新商品「洗面室シリーズ」を開発

「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」 (アイズプラス ストレージ リネン)

「EYE'S PLUS BATHROOM 2015」 (アイズプラス バスルーム 2015)

「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」 (アイズプラス ラバトリー 2015)

三菱地所レジデンスは、お客様の声を活かした住まいに関するものづくり活動「EYE'S PLUS (アイズプラス)」を2013年より開始し、今般「洗面室のモンダイ」を解決する洗面室シリーズ (3商品)を開発しました。

当社は、累計供給戸数17万8千戸を超える実績とノウハウ、そして製販管一体の体制を活かし、分譲マンション開発のリーディングカンパニーとして「本当にお客さまにお喜びいただける商品」を開発するため、『お客様の目線に、プロの視点を加えて「新たな価値をプラス」していくものづくりの取り組み「EYE'S PLUS (アイズプラス)」』を推進しています。ご入居者様・ご契約者様を対象とした「三菱地所のレジデンスクラブ」(約21万世帯)、ご購入検討者様の会員組織「ザ・パークハウス クラブ」(約18万件)や、お客さまとの相互交流が可能なWEBサイト「スマイラボ」などを通じて、お客様の声を広く・直接的に伺い、これまで様々な新商品を開発してきました。

今回は洗面室をテーマに、双方向のコミュニケーションとして、「スマイラボ」を通じた相互交流 (WEBアンケート約4,000件、コラムへのコメント等)や3回のグループインタビューなどを実施。特に多かった5つの「洗面室のモンダイ」を、試作品での検証を経て、新たに開発した3つの商品で解決します。

3つの新商品

5つのモンダイ	
1	洗濯カゴを置くスペースがあっただろうがいい
2	バスタオルをきちんと収納したい
3	入浴後の着替えを置くスペースがあればいい
4	ぬれたバスタオルは乾かしてから洗濯機に入れたい
5	洗面化粧台は2人並んで使えたほうがいい

① 「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」 (アイズプラス ストレージ リネン)
: リネン庫

洗濯カゴを置くスペースと、入浴後の着替えや洗剤などの収納に使えるオープンスペースを設置。棚のサイズをミニマムサイズに設定し、バスタオルを3つ折りにした場合でもきちんと収納できるサイズを確保。

② 「EYE'S PLUS BATHROOM 2015」 (アイズプラス バスルーム 2015) : 浴室ユニットバス扉にバーを2本設置。

③ 「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」 (アイズプラス ラバトリー 2015)
: 洗面化粧台

洗面ボウルを片寄せにし、ボウルの位置に合わせ三面鏡の割り付けにも工夫。



▲① 「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」 ▲② 「EYE'S PLUS BATHROOM 2015」 ▲③ 「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」

当社では、今回新たに開発した3商品を、2015年4月以降順次「ザ・パークハウス」物件に原則導入していきます。今後ともお客様の声に耳を傾け、より一層お客さまにご満足いただける住まいの提供を目指します。

<商品開発の流れ>

1. アンケートで問題点の発見

まず洗面室に関する問題点を見つけるため、WEBアンケートを行い、得られた多くのご意見を分析し5つの問題点を発見しました。

<洗面室に関するWEBアンケート（3回）>

1回目「洗面室についてのアンケート」	2014年6月4日～6月23日	回答数：1,367件
2回目「第二回洗面室についてのアンケート」	2014年8月13日～8月25日	回答数：1,542件
3回目「バスルームについてのアンケート」	2014年10月22日～11月10日	回答数：959件

2. グループインタビューなどで検証

問題の解決策を模索するため、洗面室の試作品を2台作製し、グループインタビューやアンケート（回答数：224件）を行いました。試作品はものづくり研究所「EYE'S PLUS LAB（アイズプラス ラボ）」に展示し、試作品に実際に触れていただきながら、使い勝手に関するご意見やご自身の生活に取り入れたい機能、その他現在お使いの洗面室に関する感想や今後洗面室に求めることなど、様々な角度からご意見を伺いました。また、社内モニターも実施しました。

さらに、お客さまとの相互交流が可能なWEBサイト「スマイラボ」にてコラムを掲載し、お客さまからの声を集めました。

<洗面室に関するコラム（5回）>

「洗面室を考える」	2014年5月15日掲載	お客さまからのコメント18件
「洗面化粧台のデザインを考える」	2014年6月26日掲載	お客さまからのコメント6件
「洗面室の洗濯動線を考える」	2014年7月31日掲載	お客さまからのコメント4件
「雑巾をどこにしまえますか」	2014年9月4日掲載	お客さまからのコメント6件
「バスタオルのゆくえ」	2014年10月9日掲載	お客さまからのコメント3件

3. 改善ポイントの決定・商品開発

発見や検証を踏まえ、洗面室シリーズ「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」「EYE'S PLUS BATHROOM 2015」「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」が完成しました。

<商品の詳細>

① 「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」（アイズプラス ストレージ リネン）：リネン庫

洗面室にはタオルや洗剤、洗濯カゴなど様々な物が置かれ、また入浴時には部屋着やパジャマなども持ち込まれます。お客さまアンケートでは60%以上の方から、入浴時に持ち込んだ着替えの置き場所に困るという声がありました。そこで、一時的に仮置きなどができるスペースを確保し、一般的に販売されているバスタオルのサイズ（縦140cm×横70cm）をきちんと収納できるよう、リネン庫のミニマムサイズを検討しました。すっきりときれいに片づけられ、来客の際にはちょっとしたおもてなしも出来る「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」は、心地よい暮らしのためのリネン庫です。

■ ドライエリアにも使えるオープンスペース



リネン庫を一部オープンにすることで、入浴後の着替えなどを置けるドライエリアとして使用できるほか、洗剤などの収納スペースや飾り棚としても使用可能です。



■ 幅30cm×奥行40cmをミニマムサイズに設定



縦140cm×横70cmのバスタオルを3つ折りにした場合には、きちんと収納できるミニマムサイズを確保しました。



「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」ウェブサイト：

http://www.mecsumai.com/brand/detail/brand_category_id/54/id/492

② 「EYE'S PLUS BATHROOM 2015」(アイズプラス バスルーム 2015) : 浴室

お客さまから直接ご意見をいただくグループインタビューでは、新たな発見がありました。湿ったバスタオルをそのまま洗濯機や洗濯カゴへ入れることには抵抗があり、使用後のバスタオルは乾かしてから洗濯機に入れるということです。洗面室に家族全員分のバスタオルを乾かす場所を確保するために、浴室扉の外側に取り付けられているバスタオルハンガーの設置本数を、1本から2本に変更しました。

また、その他の機能も、使いやすさ・清掃性の良さなどを考え採用しています。

■2本のバスタオルハンガー



バスタオルハンガーを2本、浴室扉の外側に取り付きました。浴室からバスタオルを取り、その場でふけるので、足ふきマットや脱衣室の水濡れを減らせます。また、使用後のバスタオルを干す際、従来のものより多い枚数を掛けられます。

■縦長ミラー



立った状態でも座った状態でも顔が見えるように、縦長ミラーを採用しました。小口(縁断面)に耐食処理を施した防湿型を採用しているので、ミラーが長持ちします。

■2フック付スライドバー



メタル調の上下可動式フックが2つ備えられたスライドバーです。大人や子どもなど使う人の身長の違いや、立って使う、座って使うといった場合にも、フックの高さを調節する手間が省けます。

【その他の機能】

- 保温浴槽 ●ミストサウナ ●節水型水栓・高機能シャワーヘッド ●水はけのよい床
- お手入れしやすい浴室ドア ●汚れがつきにくいフラットな壁
- 取り外し可能なスリムカウンター ●洗濯物干しに便利なランドリーパイプ

「EYE'S PLUS BATHROOM 2015」ウェブサイト :

http://www.mecsumai.com/brand/detail/brand_category_id/54/id/490

③ 「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」(アイズプラス ラバトリー 2015)：洗面化粧台

忙しい朝は2人同時に洗面化粧台を使用することがあると答えた方は50.5%でした。また、グループインタビューでも2人並んで使えるようにしてほしいというご意見をいただきました。「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」では、洗面ボウルを片側に寄せ天板に作業スペースと天板下部の収納スペースを確保しながら、ボウルの位置に合わせ鏡割りにも工夫をしています。2人並んだ場合でも三面鏡の区切りラインが顔の位置にこないで、ストレスなく鏡が使えます。様々なライフスタイルに対応し、快適に使える洗面化粧台です。

■片寄せ洗面ボウル+ボウルに合わせた鏡割り

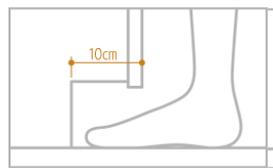


洗面ボウルを片側に寄せた配置にすることで、天板には広々とした作業スペースを、天板下部には幅を広げた3段引き出しの収納スペースを設けました。洗面ボウル配置に合わせて、鏡割りのレイアウトも変更したので、忙しい朝でも2人並んで使用できます。また、天板と洗面ボウルとのつなぎ目をなくして平らに仕上げ、掃除をしやすくしました。

■10cm セットバックした巾木位置



洗面化粧台下部の巾木部分を、収納扉面より奥に10cm ずらしました。洗面台に近づいてもつま先が当たらず、快適に使用できます。



■ヘルスマータースペース



洗面化粧台下部の巾木部分に、幅40cmの開口を設け、ヘルスマーターの収納スペースを作りました。足元がすっきりするとともに、使いたい時にすぐ取り出せます。

【その他の機能】

- ヘッド引き出し式エコ水栓
- ティッシュボックス用ガードパイプ
- 耐震ラッチ付き三面鏡
- ソフトクローズ機能

「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」ウェブサイト：

http://www.mecsumai.com/brand/detail/brand_category_id/54/id/491

<参考>



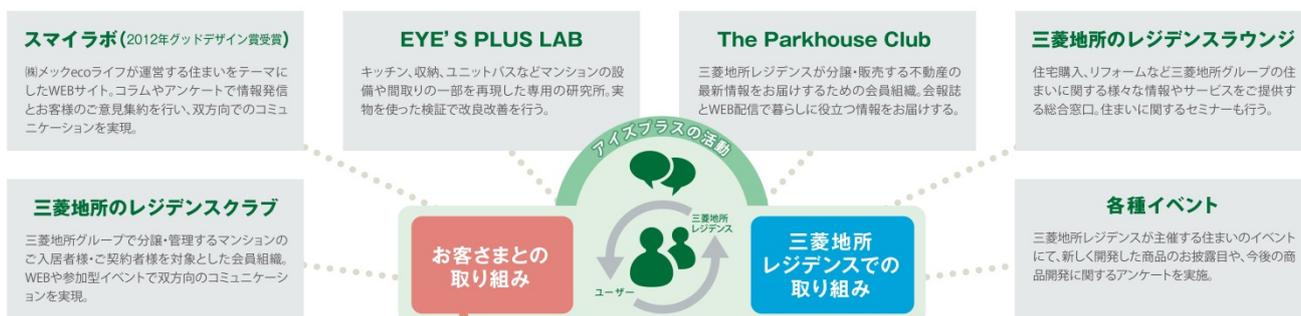
■EYE'S PLUS (アイズプラス)

お客さまの声をより一層集約した商品開発を行うため、2013年6月に始動した、お客さまの声に三菱地所レジデンスの実績やノウハウを活かしたプロの視点を加え、「新たな価値をプラス」していくものづくりの取り組み。

レジデンスギャラリーご来場時からご入居後までの各種アンケート、ご入居者様・ご契約者様を対象とした「三菱地所のレジデンスクラブ」、ご購入検討者様の会員組織「ザ・パークハウス クラブ」やWEBサイト「スマイラボ」などを通じて伺ったお客さまのご意見から方向性を見出し、その方向性から仮説をたてて試作品をつくり、仮説を検証して商品開発をしています。

本取り組みから生まれた商品は、「EYE'S PLUS」(アイズプラス) の名を冠した商品として順次「ザ・パークハウス」に導入しており、現在10種類の商品の実績があります。(2015年4月現在、「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」、「EYE'S PLUS BATHROOM 2015」、「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」含む)

活動のためのプラットフォーム



① お客さまへのインタビュー

開発段階の商品を実際に見て触れてもらいながら、座談会を行います。試作品に対するご意見や現在ご使用の設備類について使い勝手など伺っています。



4台の試作品をご覧いただきながらの顧客座談会

② アンケート

街頭やWEBサイト上でアンケートを行います。より多くのお客さまに、住宅設備類へのこだわりやライフスタイルについても伺っています。



③ WEB上でのコラム(スマイラボ)へのご意見・投稿

WEBサイト「スマイラボ」を通して、様々な角度からものづくりに関するコラムを発信しています。お客さまからの投稿コメントにお応えしながら、テーマについて一緒に考えていきます。



スマイラボ「みんなでつくるものづくりプロジェクト」
http://www.sumai-lab.net/project/



オリジナル新商品として、「ザ・パークハウス」へ導入

「EYE'S PLUS (アイズプラス)」を通じて開発した商品

- 「EYE'S PLUS KITCHEN」(キッチン)
- 「EYE'S PLUS COLOR 2013」(カラスキム※毎年更新)
- 「EYE'S PLUS BATHROOM」(浴室)
- 「EYE'S PLUS LAVATORY」(洗面化粧台)
- 「EYE'S PLUS STORAGE SHOES」(玄関収納)
- 「EYE'S PLUS STORAGE FUTON」(ふとん収納)
- 「EYE'S PLUS COLOR 2014」(カラスキム)
- 「EYE'S PLUS STORAGE SOUJI」(掃除機収納)
- 「EYE'S PLUS STORAGE LINEN」(リネン庫)
- 「EYE'S PLUS BATHROOM 2015」(浴室)
- 「EYE'S PLUS LAVATORY 2015」(洗面化粧台)

■スマイラボ (グッドデザイン賞受賞)

2011年11月、三菱地所グループの住宅事業における環境への先進的な取り組みや新規事業提案等を行っている株式会社メック eco ライフが開設・運用しているWEBサイト。

「ニュース」・「コラム」・「アンケート」の3つのコーナーで構成され、「ニュース」・「コラム」でお客さまに住まいや暮らしに関する新しい考え方や情報を発信するとともに、「アンケート」でお客さまからご意見を伺い、双方向でのコミュニケーションを行っています。

「スマイラボ」ウェブサイト：<http://www.sumai-lab.net/>



TOP
スマイラボとは
テーマ
コラム
アンケート
プロジェクト
NEWS
ご意見

トップ プロジェクト M19 バスタオルのゆくえ

New 最新の記事

- ・#71 オフィスにキッチンがあったら
update: 2015/03/26
- ・M23 玄関の外と内をつなぐ～玄関についてのアンケートから
update: 2015/03/18
- ・#70 2拠点居住～田舎の物置とコンパクトな都市の暮らし
update: 2015/03/13
- ・「玄関について」のアンケート報告
update: 2015/03/12
- ・#69 動く水回りが暮らしを変える
update: 2015/02/20

Project みんなで考えるものづくりプロジェクト

バスタオルのゆくえ

M19 バスタオルのゆくえ

みなさんの家では、お風呂上がりにバスタオルを使った後はそのタオルはどうしているのでしょうか。

アンケートではバスタオルは一人一枚で、一～二回使ってから洗濯機へ入れるという人が最も多く全体の約50%にもなっています。

質問 6. 【入浴についてお伺いします】バスタオルは何回使ってから洗濯しますか。

1人1回使うこと	1人1回～2回程度	1人2回～3回程度	1人3回以上	1人3回以上使うこと	家族で1枚を1回～2回程度	家族で1枚を2回～3回程度	家族で1枚を3回以上	特に決まっていない	その他
0.1%	52.5%	20.1%	11.6%	3.5%	1.7%	0.1%	0.5%	0.1%	3.0%

全体 (回答数: 1,367件)

そうだとすれば、そのまま洗濯機に入れる、または洗濯カゴに入れるという人が多いのではないのでしょうか。しかし、実際は一旦乾かして、洗濯をする前に洗濯機に入れるという方が多いのです。においが気になる、カビが発生しそうで嫌だというのが多くの理由です。家族の多い家では洗面蓋のタオルバーでは容量が足りずに、ダイニングのイスにかけて干しておくという人もいましたし、リビングに干しているという人、自分の履きかきにかけて干すという人もいます。洗面蓋のタオルバーは浴室扉部分に一本ついている事が最近では多いようですが、これだと、バスタオルは一枚が半分に折って二枚が限度です。それなら、家族分のフックまたはバーを2本にするというアイデアもあるでしょう。

前回のアンケート結果ではタオルバーのほうが好まれているようです。やはり広げて乾かしたいと考えるのでしょうか。

質問 6. 入浴後使用したバスタオルを洗面蓋へかけておくとしたら、どちらが良いですか。次の中から一番良いと思うものをお選びください。

1

2

Recommend

- ・M23 玄関の外と内をつなぐ～玄関についてのアンケートから
update: 2015/03/18
- ・M22 水まわりとハイテクノロジー
update: 2015/02/17
- ・M21 家族のコミュニケーションを考える
update: 2014/12/25
- ・「バスルームについて」のアンケート報告
update: 2014/12/03
- ・M20 素材の話
update: 2014/11/12
- ・「第二回洗面蓋について」のアンケート報告
update: 2014/09/25
- ・M18 雑巾をどこにしまえますか
update: 2014/09/04
- ・M17 洗面蓋の洗濯動線を考える
update: 2014/07/31
- ・「洗面蓋について」のアンケート報告
update: 2014/07/23
- ・M16 洗面化粧台のデザインを考える
update: 2014/06/26

News

- ・審査員評価をアップしました！～マンション暮らしのアイデア企画2014 住まいの「フォト」&「植取り」コンペ
update: 2014/10/27
- ・住まいの「フォト」&「植取り」コンペ開催！みなさんの暮らしについてアイデアを募集します。
update: 2014/07/25
- ・結果発表 審査員評価をアップしました！
update: 2013/10/10
- ・マンション暮らしの「シオリオ」&設計アイデア企画コンペ 受付終了しました
update: 2013/10/04